

2013～2015 年度 中期経営計画

～不可能を可能に！ =Challenge & Change=～

ソラシド エア(スカイネットアジア航空株式会社 本社:宮崎県宮崎市 代表取締役社長:高橋洋)では、2013～2015 年度の 3 年間を計画期間とする中期経営計画を策定しました。

当社では、現中期計画期間を持続可能な成長に向けた「地固めの 2 カ年」と位置付け、オペレーション品質の向上、新ブランド導入によるサービス品質と市場認知度向上、コスト競争力増強に取り組みました。その結果、2013 年 3 月期の累積損失解消を視野に捉えるまでに至っています。

本中期計画期間となる 2013-15 年度のビジョンを『**新たな成長に向け、強いソラシドエアになる**』とし、引き続き安全運航を経営の最重要課題としながら、“空から笑顔の種をまく”ソラシドエアらしさあふれるサービスの提供と、本邦新規航空会社トップレベルのコスト競争力達成とともに、「九州・沖縄の翼」として路線ネットワークの拡充を図ってまいります。

1. 定量目標

財務目標 : 最終年度の営業利益率 8%以上・ユニットコスト 7 円台

運航品質 : 就航率 99.0%・定時出発率 95.0%以上

サービス品質 : JCSI*における顧客満足度調査(顧客満足項目)のトップ

*サービス産業生産性協議会が実施する顧客満足度調査

2. 事業計画

(1) 路線・便数計画

路線/便数(往復)		現在	2013 年 3 月 31 日～	2013 年 6 月 1 日～
東京 (羽田)	宮崎	7	7	7
	熊本	4	→ 5	5
	長崎	4	4	4
	鹿児島	4	→ 5	5
	大分	3	→ 4	4
沖縄 (那覇)	宮崎	1	1	1
	熊本	1	0	0
	長崎	1	0	0
	鹿児島	2	2	2
	神戸	-	-	→ 3
合計		27	28	31

※将来の定期便就航を視野にいれ、国際線チャーター便運航を実現する。

スカイネットアジア航空株式会社

(2) 機材計画

当初の機材更新計画(完了時期)を約1年早め、2014年度下期までにB737-800型機に全機統一して11機体制とし、運航品質の安定・向上とコスト削減を実現します。

3. 利益目標

本中期計画期間の最終年度となる2015年度3月期において、**売上高350億円、営業利益率8%以上**を目指します。

(単位:億円)	2013年度	2014年度	2015年度
売上高	334	348	352
営業利益	17	24	28
営業利益率	5.2%	7.0%	8.2%
当期利益	7	8	17

ユニットコスト	8.1円	7.9円	7.8円
提供座席キロ(百万) (2012年度比)	3,924 (122%)	4,117 (128%)	4,123 (128%)

4. 主要な取り組み

(1) 安全について

『安全理念』を引き続き堅持し、不安全事象の発生を低減すべく未然防止に努め、持続可能な安全文化の定着に取り組みます。

(2) 構造改革

強い経営体質構築、本邦新規航空会社トップレベルのユニットコストを目指し、燃料節減や業務プロセスの見直しなど、更なるコスト構造の改革と生産性向上を推進します。

(3) 営業・ブランドコミュニケーション関連

“空から笑顔の種をまく”のコンセプトを社員一人一人が体現し、オリジナリティあふれるサービスの提供や地域との連携、他業種とのコラボレーション活動等を通じて、ソラシドブランドの浸透を図ります。

併せて、多様化するマーケットに対するマーケティング機能強化と戦略的マーケットコミュニケーションなどに取り組み、2015年度をターゲットに年間L/F70%を目指します。

以上